



駒澤会だより

第37号

襷を繋ぐ

会長 一戸 隆男

令和4年12月19日
駒澤大学駒澤会 発行

年の暮れを迎え、皆さまにはますますご発展のこととお慶び申し上げます。本年も駒澤会の活動にご理解、ご協力を賜りましたこと、会を代表して御礼申し上げます。

昨年10月に駒澤会は創立50周年を迎え、世の中の情勢に左右されながら、ようやく6月に創立50周年記念祝賀会を開催することができました。お集まりいただいた皆様をはじめ学生への支援を継続してくださる駒澤会会員の皆様には改めて感謝申し上げます。この節目の年に、会長として立ち会うことができたご縁には、重責を担っているのだと身の引き締まる思いがいたします。

今年は「委員総会」や「初夏の親睦会」などの恒例行事を3年ぶりに対面で活動することができ、ここ数年の状況を鑑みますと、また駒澤会創立51年目として、まさに一歩を踏み出すことのできた年であったと感じております。駒澤大学も記念すべき140周年を迎え新図書館が開館しました。新たな学修環境で駒大生の皆さんが伸びやかに過ごすことのできるよう、駒澤会は奨学金やその他の支援によって駒大生を応援していく所存です。

国による奨学金制度が充実したことで、ここ数年駒澤会からの奨学金支援ができておりません。寄付や学生支援プロジェクトなどへ支援を実施しているとはいえ、駒澤会として学生へ奨学金を手渡せていないことは早急に改善すべき事案であります。駒澤会会員の皆さまの想いをカタチにして学生への直接的支援を実施できるよう、役員をはじめ事務局、大学のご担当の方々と検討してまいります。

本年もひとかたならぬご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。来年もご指導ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。



幾重ものご縁に運命を感じた「教育後援会との懇親会」

総務部長 堀 純一郎

2022年8月25日（木）19時から、駒澤大学教育後援会との懇親会を3年ぶりに開催しました。会場は、新橋にある恒例の「新橋亭（しんきょうてい）」。田中隆一相談役（元駒澤高校教諭）の教え子の方とのご縁で使わせていただいている中華料理のお店です。駒澤会からは一戸隆男会長のほか計12名（事務局・谷国遥さん含む）、教育後援会からは久保伸吾会長、船橋純子・総務部長、間美和子・文化部副部長、高野典夫・文化部副部長の計4名の皆さんにご出席いただきました。

久しぶりに開催できた喜びを述べられた一戸会長の挨拶に続き、久保会長からはコロナ禍で思うように活動ができなかった教育後援会を活性化していくための施策と近況報告がありました。その後、森屋正治顧問による盛大な乾杯で宴会に突入。美味しい中華料理と17年モノの最高級紹興酒を酌み交わしながら、和気あいあい交流を深めました。

驚いたのが、なんと一戸会長が船橋純子さんの中学校の先輩だったことです。お二人とも鎌倉市立大船中学校だったそうで、このご縁に全員がびっくり！さらに続きます。2日前の8月23日は教育後援会の創立記念日だったのですが、その日に吉田稔・厚生部長のお孫さんが生まれたという発表があり、二つ目のご縁が明らかになりました。

ご縁は、これで終わりではありませんでした。二次会でのこと、私にもご縁がありました。久保会長が鹿児島出身との話だったのですが、なんと出身地が鹿児島県日置市で私の実家と同じ。しかも、伊集院駅のそばで私の叔父がやっている床屋に通っていたというではありませんか。遠く離れた東京の地で、郷里のご縁がこんなに身近なところにあることに驚か



<筆者：後列右から2番目>

ないはずはありません。久保会長との距離はぐっと縮まりました。話をしてみるものです。

駒澤大学でわが子が学んだという強いきづなで結ばれたご縁があるわけですが、同じ中学、同じ誕生日、同じ郷里と、幾重にも重なるご縁に運命を感じざるを得ない懇親会となりました。駒澤会への入会者が増えることを確信した次第です(*^^*)

教育後援会も駒澤会の皆様と共に

駒澤大学教育後援会 会長 久保 伸吾



先ず、昨年10月に創立50周年を迎えられ、延期となっております50周年記念祝賀会も6月に大盛況のもと開催されましたことあらためてお祝い申し上げます。

さて、2年以上にわたるコロナ禍の中で3年振りに駒澤会と駒澤大学教育後援会との懇親会が、8月25日に新橋にある『新橋亭』で開催され、駒澤会からは一戸会長を始め役員の皆様、教育後援会からは私を含めて4名が初めて参加させて頂きました。

懇親会では両会の面々でお話しが大いに弾み、これまでご経験なされたことや人との『ご縁(出会い)』の大切さなどをお聞きし、今後の教育後援会活動に大いに参考となりました。お陰様で駒澤会の皆様と充実した時間を過ごす事ができました。

また、教育後援会としての活動を終えられた後も、駒澤大学の発展と学生支援という強い思いと行動力にあらためて感じる事ができました。現役学生の保護者として、心より感謝申し上げます。

駒澤大学も開校140周年を迎えて新図書館「智の蔵」も竣工し、現在の情報社会に相応しい学びの場へと進化していきます。学生が駒澤大学でしっかりと学び社会に旅立つ準備が出来るような環境づくりのために今後も教育後援会と駒澤会で緊密な連携を図りながら充実した支援を行っていければと思います。

駒澤会の皆様とお会いできたことを感謝するとともに益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。



KOMAZAWA NEW LIBRARY

2022年10月17日 開館

新図書館は、駒澤大学の旧図書館の東隣（大学会館跡地）に、地上6階・地下3階の構造、延床面積約11,000㎡の規模で建設されました。

新図書館コンセプト「智の蔵」とは？

① 智を蓄える

豊富な資料を適切な環境で保管する開かれた書庫へ

② 智をつかう

あらゆる媒体からなる情報にも容易にアクセス可能な、探しているものが見つけやすい図書館へ

③ 智をつなげる

対話型の学習空間、豊富なコンテンツにアクセスしやすい設備・環境・人・組織による支援の充実した進化する図書館へ

多様性を受け入れ、個を成長させる図書館へ

階層ごとに〈収蔵〉〈交流〉〈学修〉〈調査〉〈研究〉という概念を設け、上層階に行くほどに学びの専門性を高め、入館者が求める滞在場所を自由に選択できる構成とする「フロアゾーニング」で、近年の大学図書館に求められる多様なニーズに応え得る図書館を目指しています。また、時代に即した学修・研究を行うことができるよう、従来の閲覧席の他に、個人ブース・グループ学修スペース・可動式テーブル席・カウンター席・ソファ席等を設けました。

一般の方へのオープンは未定となっております。駒澤会の皆さまにご利用いただけるタイミングになりましたらご案内いたしますので、今しばらくお待ちください。

フロアコンセプト



1・2階：交流・広場

学内外の智的活動と協働し、利用者が「新たな知」と出会う、学びのインタラクション（相互作用）ゾーン。



3・4階：学修・協働

最新のICT機器を活用し、利用者の主体性に応じた活動を促す協働学修の場。



5階：調査

個別学修に専念できる静かで落ち着いた空間。調査や研究に必要な資料とデジタル機器を活用しつつ、知識の習得と自らの思考に傾倒する場。



6階：研究

貴重書等の特殊な資料を活用し、専門性の高い研究や学習活動に長時間没頭できる静寂空間。

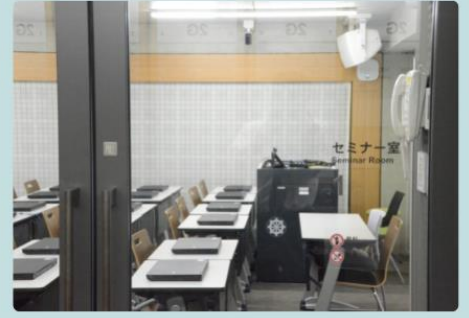
フォトギャラリー



新図書館外観



1階コミュニケーションプラザ



2階セミナー室



3階蔵書検索・閲覧スペース



6階個人研究室



6階特別資料庫



駒澤大学140周年記念

副会長 赤堀菊絵

神無月、金木犀の香り漂う秋晴れの佳き日令和4年10月12日（水）駒澤大学開校140周年新図書館落慶記念式典が新図書館スタジオスペースで開催されました。午前10時に開式し、式典には、駒澤会からは森屋顧問、木村副会長と3名で出席を致しました。落慶法要の導師を学校法人駒澤大学永井政之総長が務められました。

大本山總持寺貫首猊下様、大本山永平寺後堂老師様、曹洞宗宗務庁内局の僧侶の方々をはじめ、参列者一同、般若心経をお唱えし、法要は無事終わりました。次に式辞を学校法人駒澤大学山本健善理事長そして、御来賓の皆様の祝辞が続きました。式典中、教育後援会・同窓会・駒澤会の代表の方々に大学から感謝状が贈られました。おわりに、駒澤大学各務洋子学長が御礼の言葉を述べて閉会となりました。新図書館の中は広い空間と開放感、色調も落ち着いた雰囲気、駒澤大学の仏教の教え、禅の精神、歴史と伝統が活かされている場所を感じました。皆様、一度新図書館に足を運んでみてはいかがでしょうか。きっと新しい発見に出会えると思います。



銘板の前で記念写真
左から森屋顧問・赤堀副会長・木村副会長

『新図書館建設事業募金』への寄付に関するご報告

駒澤大学新図書館の建設事業に対し、駒澤会から500万円の寄付を実施しました。

駒澤会では周年事業寄付の依頼があった際に寄付できるよう2016年度から奨学金予算を年度につき100万円減額した経緯があり、今まで積み立ててきた基金から支出することが令和4年度委員総会で承認されたことにより実施に至りました。

開館にあたり、令和4年10月12日（水）に図書館落慶記念式典が執り行われ、駒澤会から森屋正治顧問と赤堀菊絵副会長、木村朋子副会長の3名が出席し、門出を見届けました。新図書館内には「駒澤大学駒澤会」の銘板が設置されています。（写真左：赤枠部分）

式典では学校法人駒澤大学山本理事長から赤堀副会長へ、寄付に関しての『感謝状』が贈呈され、後日一戸会長へ手渡されました。

駒沢キャンパスに新たに誕生した図書館で、学生の智がしなやかに育まれることを祈ります。

大木山永平寺	大木山總持寺	駒澤大学教育後援会	駒澤大学同窓会	駒澤大学駒澤会
石附 周行	大塚 利明	大塚 郁子	大塚 柱	
駒澤大学同窓会九州ブロック	駒澤大学同窓会北海道空知支部	駒澤大学同窓会北海道支部創立50周年記念	駒澤大学同窓会東京都支部	駒澤大学同窓会島根県支部
駒澤大学経済学部同窓会	駒澤大学II部剣道部	駒澤不動産業門会		
愛知株式会社	株式会社石本建築事務所	株式会社ガーデン佐藤	グローブシップ株式会社	株式会社KUサポ-
株式会社廣建	東急建設株式会社	日本ファインディング株式会社	東日本電信電話株式会社	株式会社フュー-



駒澤会奨学金に関するご報告

駒澤会では、経済支援を希望する各学部の成績優秀者に対して、1人20万円の奨学金を20名に給付する『ゆめ基金』（駒澤会奨学基金）を設立し、発足以来、1,100余名の学生に無償還の奨学金付与を継続しておりました。

駒澤大学には、「駒澤大学百周年記念奨学金」と「駒澤大学同窓会奨学金」、「駒澤大学駒澤会奨学金」の3種類の学内奨学金制度が設けられておりますが、令和2年4月より文部科学省が始めた「高等教育の修学支援新制度」による採用者が多く、学内奨学金対象者数が大きく減少したため、昨年度に引き続き令和4年度も駒澤会奨学金における奨学生選出に至らなかったため、令和4年度奨学金基金予算は未執行となりましたことをご報告いたします。

- 基金管理委員会からのお知らせ -

基金管理委員会より、前回会報にてご報告した以降の運用状況について、以下のとおりお知らせいたします。

運用先	令和4年8月～令和4年11月までの利金	備考
野村証券	142,696 円	みずほ・三菱 UFJ 社債
みずほ銀行	0 円	普通預金利息
世田谷信用金庫	1,880 円	定期預金利息
合 計	144,576 円	

基金管理委員会 委員長

- 各部入部のお誘い -

駒澤会会員の皆さまに、駒澤会の運営に携わる各部への入部をお誘いしています。

会の運営は、以下の3つの部に分かれて活動しています。2～3ヶ月に1度ほどのペースで会議を行っています。

ぜひ一緒に、駒澤会の活動を盛り上げましょう！入部をお待ちしております。

希望される場合は、駒澤会事務局・谷国（タニクニ）までご連絡ください。

総務部	駒澤会の規程や運営費について検討し、活動がスムーズに行われるよう全体的な調整をしています。
広報部	会報誌「駒澤会だより」の発行やPR活動を中心とし、制作経験の有無にかかわらず、様々な意見を出し合い和やかに進めています。
厚生部	会員の皆さまが楽しく有意義な時間を過ごせるよう、各種行事を検討しています。

- 入会者ご芳名 -

駒澤会にご入会いただき誠にありがとうございます。新規会員の皆様のご芳名を掲載させていただきます。今回は令和4年7月初旬から令和4年12月中旬までの期間にご入会いただいた方を掲載します。なお、掲載の同意が確認できなかった方は匿名とさせていただきます。

清水 良行 様	福田 伸二 様	吉村 淳一 様	池尻 雄治 様
---------	---------	---------	---------

他匿名 5名

★-☆-★-☆-★-☆ 駒澤会新規会員募集中 ★-☆-★-☆-★-☆

駒澤会では新規会員を随時募集しております。ご友人、お仲間に駒澤大学ご出身のお子さまがいる方はいらっしゃいませんか？

縁のある駒澤大学を応援しつつ、様々な行事を通して楽しく交流しましょう♪♪

広報部 有馬 昌弘

大学三大駅伝の初戦、出雲駅伝をテレビ観戦で応援した。駒澤大学が大会新記録で優勝し三冠へ向けた第一歩を踏み出せたことはもちろん嬉しいことだが、沿道の応援が戻ってきたことが何よりも喜ばしく、応援の人波や各校ののぼり旗が選手たちを見守っている光景に安心を覚えた。

本稿を執筆している今日、箱根駅伝の予選会が開催され出場校が確定した。次は全日本大学駅伝だ、ゴールの伊勢神宮を目指す、各大学のせめぎ合いを目の当たりにするであろう。

さて、大学三大駅伝、出雲駅伝では神に見守られスタートした、全日本大学駅伝では神の待つゴールまで伊勢路をひた走る、果たして大学三大駅伝は神に所縁があるのか？だとすると大手町をスタートし芦ノ湖を往復する箱根路に神は？・・・いた！箱根路には山の神がいた。往路5区に山の神が降臨するのか、駒澤大学悲願の三冠達成はなるのか、来年の正月はいつにもまして沿道の光景が待ち遠しい。

[令和4年10月19日執筆]

行事予定のお知らせ

【大学】

12/26～1/10 冬季全学休業期間
2/4～8 2月一般入試
3/7 3月一般入試
3/23・24 卒業式

【駒澤会】

1/2・3 箱根駅伝
1/28 役員会
2/11 駒澤会新年賀詞交歓会 (★)
3/11 役員会

※ (★) は案内を同封しております。



箱根駅伝沿道応援の注意事項

- ① 沿道での応援は「マスク着用」のうえ、「無声応援」のみ可能です。
- ② 大学名が入ったグッズの使用、着用は連盟より固く禁じられており、出場チームが失格となる場合もございます。ご協力をお願いいたします。

【グッズ例】

のぼり・小旗・帽子・タオル・ジャンパー他



【駒澤会ホームページのご案内】

駒澤会 検索

スマートフォンはこちらからアクセス →



駒澤大学
駒澤会

駒澤会だより 第37号

発行日：令和4年12月19日 〒154-8525 世田谷区駒沢1-23-1

発行者：駒澤大学駒澤会広報部 TEL：03-3418-9189 / Mail：komazawakai@komazawa-u.ac.jp